



【表4】熊本地震復興基金事業による主な復旧支援事業の状況
(平成30年3月12日現在)

区分	申請件数	事業確定	
		件数	助成額
宅地復旧支援事業	554件	455件	10億4,505万2千円
共同墓地復旧事業	5件	4件	827万3千円

【災害公営住宅の整備検討地区】

宅地復旧支援等

熊本地震復興基金事業による宅地復旧支援事業や共同墓地復旧事業（表4参照）、私道復旧事業のほか、宅地耐震化推進事業、住宅耐震化支援事業など種々の復旧事業を推進しています。これらの事業については、平成30年度も引き続き継続してまいります。

防災計画の見直し等

熊本地震発災から平成28年12月までの8か月間の町の応急対応について細かく検証し、その結果を昨年12月、「平成28年熊本地震益城町による対応の検証報告書」としてまとめました。この結果をもとに、現在、地域防災計画や業務継続計画、受援計画などの策定や改定を進めています。

次の災害に備え、今後、防災体制の充実を図ってまいります。

取り組む分野

保健・医療・福祉の充実

生活再建支援

居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に「被災者生活再建支援金」を支給し、生活再建を支援しています（表5参照）。

また、生活再建相談窓口を設置したほか、県福祉事務所と連携しながら、建設型仮設住宅の生活再建困難者を戸別訪問するなど、日常生活支援を行ってきましたが、現在では、みなし仮設住宅まで訪問対象の範囲を広げて実施しています。

今後も引き続き、きめ細かな支援を継続してまいります。

義援金の配分

熊本県配分義援金は、日本赤十字社、共同募金会、県に寄せられた義援金が県内の市町村へ配分されたもので、これまで町が受け入れた総額47億6,340万円の内、47億4,470万円を被災者へ配分しています。（表6参照）

また、益城町配分義援金は、全国の皆さまから町へ直接寄せられたもので、受け入れた総額11億3,535万5,762円の内、8億3,130万円を義援金として配分しています。（表7参照）

【表5】生活再建支援金の申請状況（2月28日現在）（単位：世帯）

被害区分	基礎支援金	加算支援金			
		建設・購入	補修	賃貸	計
全壊	3,530	1,103	352	98	1,553
大規模半壊 *1	563	11	373	23	407
解体世帯 *2	784	343	8	29	380
敷地被害	1	1	0	0	1
長期避難	0	0	0	0	0
合計	4,878	1,458	733	150	2,341

*1 …「大規模半壊」での基礎支援金申請後に解体世帯として差額申請を行った世帯は除く *2…「大規模半壊」または「半壊」で解体した世帯

【表7】益城町配分義援金（3月12日現在）

配分対象	配分金額	件数	配分金額合計
死亡者	10万円	41人	410万円
重傷者	5万円	134人	670万円
全壊	10万円	3,530世帯	3億5,300万円
解体世帯 *1	10万円	714世帯	7,140万円
大規模半壊	5万円	636世帯	3,180万円
半壊	5万円	2,516世帯	1億2,580万円
一部損壊	5万円	4,770世帯	2億3,850万円
配分済額			8億3,130万円

*1…「大規模半壊」「半壊」または敷地被害により解体した世帯へ配分済額との差額を支給

【表6】熊本県配分義援金（第20次配分まで）（3月12日現在）

配分対象	配分金額	件数	配分金額合計
死亡者	100万円	41人	4,100万円
重傷者	10万円	134人	1,340万円
全壊	80万円	3,539世帯	28億3,120万円
解体世帯 *1	80万円	714世帯	5億7,120万円
大規模半壊	40万円	640世帯	2億5,600万円
半壊	40万円	2,518世帯	10億720万円
一部損壊 *2	10万円	247世帯	2,470万円
配分済額			47億4,470万円

*2…100万円以上の修繕をした世帯